

窓ふきの知恵

■新聞紙を使ってピッカピカ！

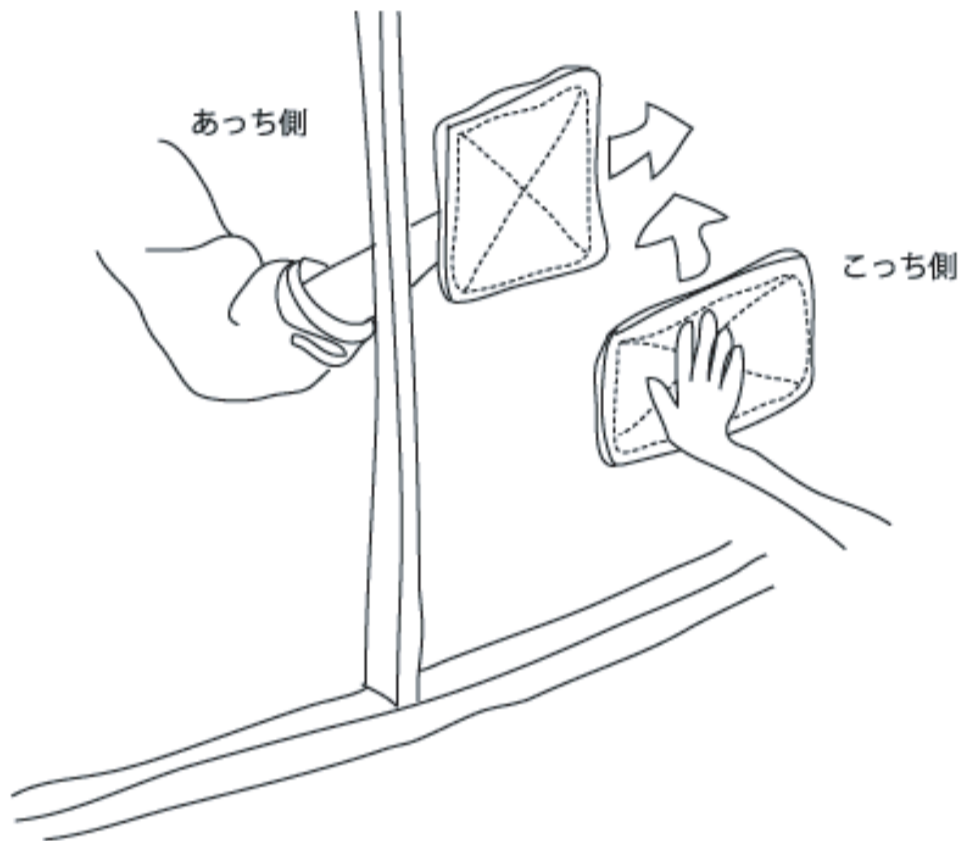
汚れて見通しの悪い窓ガラスは、見るたびに気になるものです。そんな時は古い新聞紙を利用してエコなお掃除をしてみましょう。丸めた新聞紙を水につけ、軽く絞って汚れを拭き取ります。濡れた新聞紙と乾いた新聞紙を両手に持って、交互に拭くと、拭き後も残らずピッカピカに。新聞のインクがガラスのつやを引き出して、汚れをつきにくくしてくれるんです。

■湿度たっぷりの時間を狙って

どうしても後回しになりがちな窓拭き。だいたい、天気の良い気持ちの良い日に、やっこやる気になって...ということが多いのでは？でも、それは間違い！できれば、湿度の多い明け方か曇りの日に掃除をするのがベストなんです。空気中の湿気が汚れを浮き立たせて、簡単に落とす事が出来ます。逆に日差しの強い日は湿度もなく、ガラスに光が反射して汚れの箇所が見つげづらくなります。早く起きた朝や曇りの日は窓を拭く日と決めて、簡単に気持ちよく窓を磨き上げましょう。

■拭き方のコツ

ガラスを拭く時は、表側を水平方向に拭いたら裏側は垂直方向に拭く等、表裏の向きを変えて拭くのがコツ。拭き残しが目立つので、一目でわかります。



■網戸の掃除は恵みの雨におまかせ 両手にぞうきんを持ち、

表と裏からいっしょに拭くのが網戸掃除の基本です。でもそれは以外に面倒なものです。奥の方や上の方が届かなくて、かえって汚くなってしまう事も。そこで、雨の日を利用して手間なし掃除はいかがでしょう。雨の日に網戸を外し、ベランダの手すりに立てかけておきます。雨が汚れを洗い落として、驚く程きれいになるんです。あとは、相戸をはめ込んでお日様に乾かしてもらうだけ。一度ためしてみると気持ちいいですよ。ただし、風の強い日や大雨の日は、網戸が飛んだり倒れたりする危険があるので避けましょう。

